

渡戸観音堂の石造物

所在地： 埼玉県富士見市鶴馬 9 6 2



↑斜め前方から

馬頭観音

■富士見市の馬頭観音（リスト1）

造立年月日：寛文4年(1664)

下記の写真は、渡戸観音堂に石造物が置かれている全景ですが、この石造物の中から発見できなかった

所在不明？壊れた？



■富士見市の馬頭観音（リスト5）

造立年月日：元禄3年(1690)

文字塔

下半額に馬身の浮彫りあり



★馬頭観音について★

馬頭観音は六観音の一つであり、観音としては珍しく、恐ろしい顔をした忿怒相（ふんぬそう）です。頭上に馬頭をのせていることから、一般に馬の守り神のように思われ、飼い馬が死んだ際に冥福を祈るものとされてきました。

馬頭観音は大別すると像塔と文字塔があります。

←富士見市内には88基の馬頭観音が確認されており、文字塔が多く、「馬頭観世音」「馬頭観音」「馬頭尊」と文字が刻まれています。そして19基が像塔です。

文字塔の中に、渡戸観音堂境内にある元禄3年(1690)の馬頭観音は、1基だけ馬の姿を浮き彫りにした特異なもので、入間東部では唯一のものといわれています。

■富士見市の馬頭観音（リスト25）

造立年月日：文政10年(1827)

像塔



庚申塔

■富士見市の庚申塔（リスト30）

造立年月日：寛政4年(1792)

この庚申塔は、元は観音坂上の不動堂から旧貝塚山方面に向かう道の渡戸側にあり、北向き（勝瀬方面）に建立されていた。昭和8年、道路拡張に伴い放置されていたが、昭和44年に現在地に移動された。側面に道しるべがある。・・・リストの説明より



是ヨリ右江戸道

※ウィキペディアによると

庚申塔（こうしんとう）は、庚申塚（こうしんづか）ともいい、中国より伝来した道教に由来する庚申信仰に基づいて建てられた石塔のこと。

庚申講（庚申待ち）とは、人間の体内にいるという三尸（さんし）虫という虫が、寝ている間に天帝にその人間の悪事を報告しに行くのを防ぐため、庚申の日に夜通し眠らないで天帝や猿田彦や青面金剛を祀り、勤行をしたり宴会をしたりする風習である。

庚申塔の石形や彫られる仏像、神像、文字などはさまざまであるが、申は干支で猿に例えられるから、「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿を彫り、村の名前や庚申講員の氏名を記したことが多い。仏教では、庚申の本尊は青面金剛とされるため、青面金剛が彫られることもある。神道では猿田彦神とされ、猿田彦神が彫られることもある。

また、庚申塔には街道沿いに置かれ、塔に道標を彫り付けられたものも多い。さらに、塞神として建立されることもあり、村の境目に建立されることもあった。

庚申塔の建立が広く行われるようになるのは、江戸時代初期（寛永期以降）頃からである。以降、近世を通して多数の庚申塔が建てられた。

という。

石地藏

- 富士見市の石地藏（リスト7） （リスト30） （リスト43）
造立年月日：元禄2年(1689) 享保18年(1733) 明和3年(1766)
頭部欠損



★菩薩について（辞書より）★

菩提薩埵、略して菩薩。「菩提」は悟り、「薩埵」は衆生の意味で、「菩薩」は悟りを求めている衆生と言う意味となります。

菩薩は如来に次いで高い位で、如来の救世活動の手伝いをするのです。

※ウィキペディアによると

日本では、仏教の教えそのものの象徴である如来とともに、身近な現世利益・救済信仰の対象として菩薩が尊崇の対象とされてきた。

日本で広く信仰される主な菩薩としては、母性的なイメージが投影される**観音菩薩**、はるか未来で人々を救う**弥勒菩薩**、女人成仏を説く法華經に登場し女性に篤く信仰されてきた**普賢菩薩**、知恵を司る**文殊菩薩**、子供を救うとされ、道端にたたずみ最も庶民の身近にある**地藏菩薩**などがある。

という。

★観音菩薩について（辞書より）★

観世音菩薩とも言われ、救いを求めている人をよく観察して、意のままに救いの手差し伸べる。様々の姿に変化する。変化観音として、十一面観音、不空罽索観音、千手観音、如意輪観音、馬頭観音、准胝観音（じゅんていかんのん）などがある。

★地蔵菩薩について（辞書より）★

釈迦の仏滅後から弥勒菩薩が来てくれるまで、この娑婆世界には仏がない。無仏の世に住み、六道の衆生（しゅじょう）を教え導くことを誓いとした菩薩。

<地蔵菩薩像>

菩薩の中で地蔵菩薩が唯一剃髪しており、衣を着て、右手に錫杖、左手に如意宝珠を持っている。

地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上の六道を錫杖をつきながら忙しく順歴されている。六体の地蔵菩薩が並べられているのは、一人では大変だろうと、六道に一体ずつ当てたもの。各道によって持ち物や印がすこしずつ違っている。

その他

■御手水鉢



←寛政12年(1800)

記載日：2014/8/9

この内容は、「郷土富士見検定問題集」、「富士見市HPの庚申塔」、「富士見市HPの馬頭観音」、「富士見市HPの石地蔵」等から、記載しています。